

Veeam® Data Platform

万ーのときはスピードが命!!
いち早く復旧できる
ソフトウェアはヴィームだけ

ランサムウェア対策に単純なバックアップ
だけでは **不十分!**

感染しない対策だけでなく、
攻撃を受けてしまった際を想定した対策も

対策のポイント

書き込み不可で保持

複数世代、複数箇所確保

ランサムウェア混入も想定

Veeamによる対策

バックアップデータをロック!

バックアップデータを複数箇所/媒体で保管

ランサムウェア混入をチェックしてから復旧!

“電子保存の要求事項について”の対応も!

見読性の
確保について

- ◇システムが停止した時は、バックアップデータから代替環境で仮想マシンとして迅速に起動して日常診療に必要な情報を見読できるようにします。
- ◇災害対策として、クラウドオブジェクトストレージにもバックアップして、有事にはクラウド上へサーバを丸ごと復旧し、代替運用を開始して必要な情報を見読できるようにします。

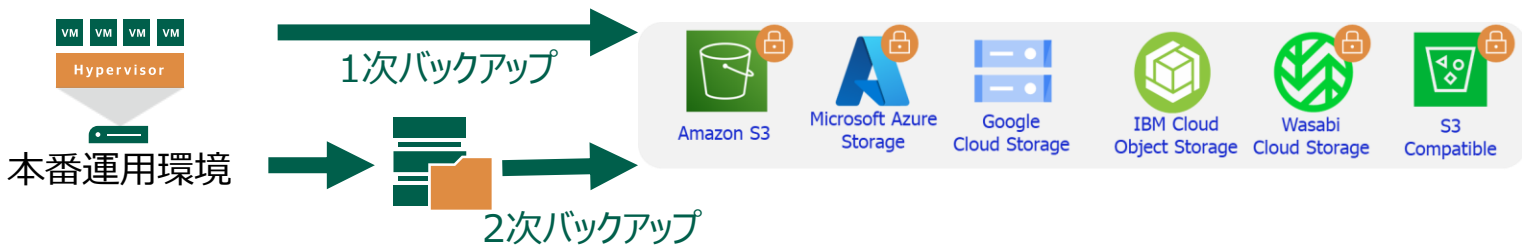
保存性の
確保について

- ◇バックアップストレージの空き容量、ゲストVM毎の保有バックアップ世代数、最も古いリストアポイント、最新のリストアポイント等を統合的に管理可能です。
- ◇バックアップファイルを隔離された検証環境にリストアし、ウィルススキャンをかける等により当該ファイルが正常に利用できるかどうかを検証することが可能です。

ランサムウェアに備えてVeeamでバックアップ

Point1: ランサムウェアが攻撃できないようにバックアップデータをロック！

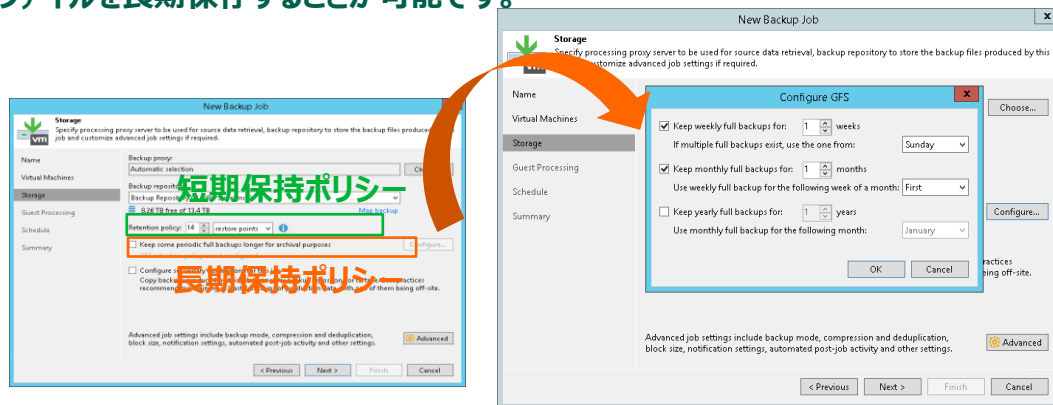
バックアップを直接オブジェクトストレージに取得可能、変更データのみ転送(永久増分バックアップ)
効率的にデータを転送、設備投資なしでオフサイト保管とデータの不変化



※AWS S3、Azure Blob (クラウドオブジェクトストレージ)へ増分転送したバックアップデータをロックして保護することも可能です。
また、テープへの2次バックアップも可能です。

Point2: 潜伏期間が数ヶ月のランサムウェアも・・・短期だけでなく長期保存を可能に！

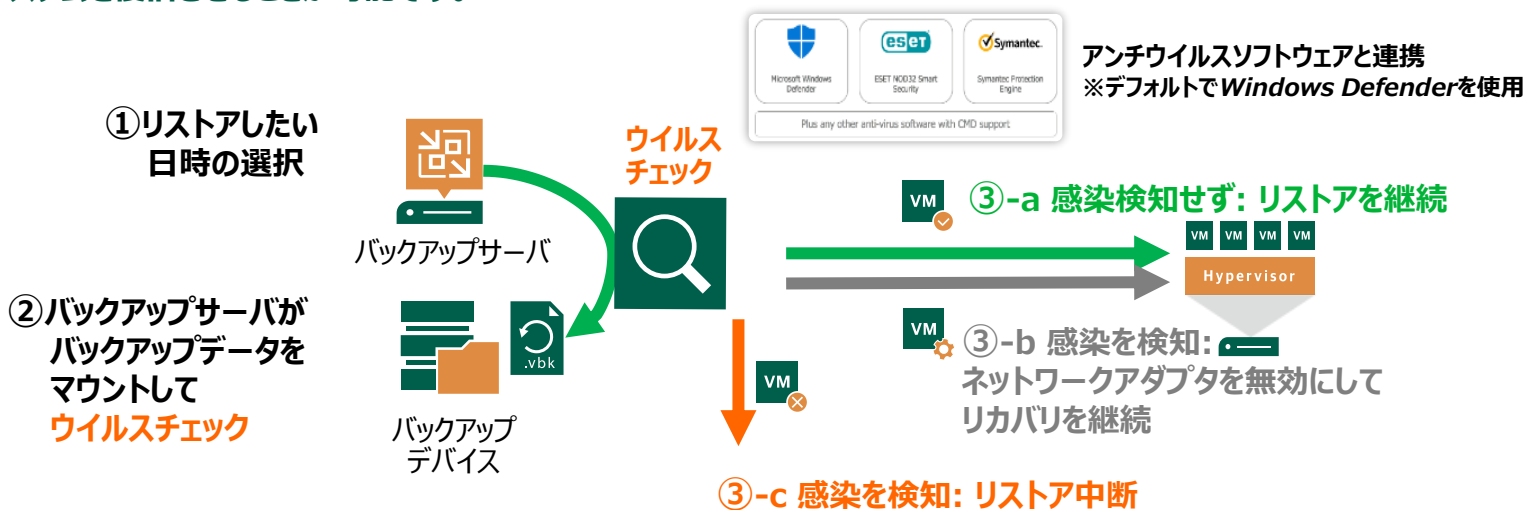
長期保持ポリシー(GFS)：7～14日等の短期保存バックアップと合わせて、週単位、月単位、年単位のバックアップ
ファイルを長期保存することが可能です。



長期保持の目的で新しいバックアップ
ファイルは作成しません。
GFS(grandfather/father/son)
と呼ばれる長期の保持ポリシーでは、
既存のフルバックアップファイルにGFS
フラグを割り当て保持します。

Point3: 再感染、被害拡大を回避・・・ランサムウェアの混入をチェックしてから復旧！

Secure Restore：リストア時にバックアップファイルをチェックして、安全を確認した上でリストアし、
システムを復旧させることが可能です。



Veeam公式問い合わせ窓口

製品購入前の各種お問い合わせ：
0120-394-029
平日 9:30-12:00/13:00-17:30
(土日祝、年末年始を除く)
メールでのお問い合わせ：
Sales.Japan@veeam.com

● お問い合わせ・ご用命は・・・

アルスシステムインテグレーション株式会社

本社 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7
TEL:03-5499-8045 FAX:03-5499-0357
東京営業所/古川営業所/仙台営業所/いわき営業所/名古屋営業所/大阪営業所/広島営業所/福岡営業所
<https://www.alsi.co.jp/> Email market@alsi.co.jp
※このチラシの記載内容は、2024年11月現在のものです。